

# レタッチ情報を保存・開く方法

eE-Painterのレタッチ情報を保存・開く方法です。

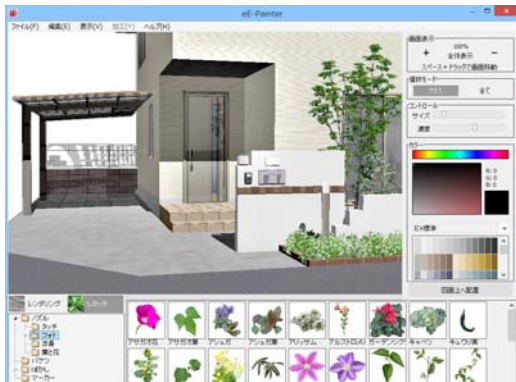


eE-Painterでレタッチをした時、レタッチ情報を保存しておくことができます。

レタッチ情報はCAD図面ファイル内、もしくは指定した場所に保存ができます。



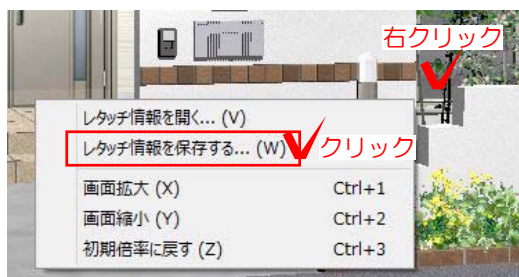
## 1 レタッチ情報を保存



1-1 eE-Painterでレタッチを行います。

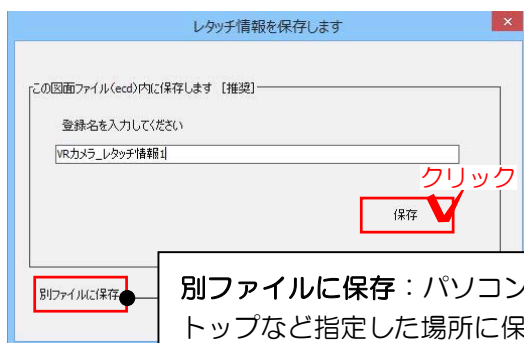


詳しい手順は [レタッチ] を検索



1-2 パース画面を右クリックし、「レタッチ情報を保存する」をクリックします。

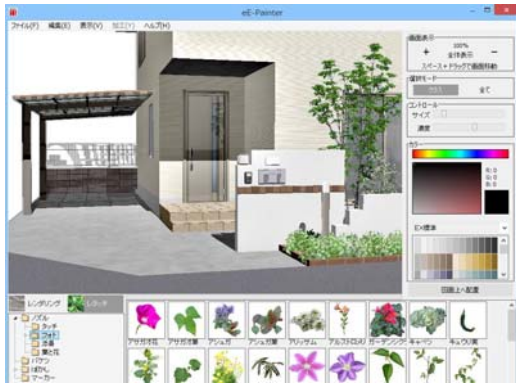
レタッチ情報保存の画面が表示されます。



1-3 名前を入力し「保存」をクリックします。

この図面ファイル内に保存されます。

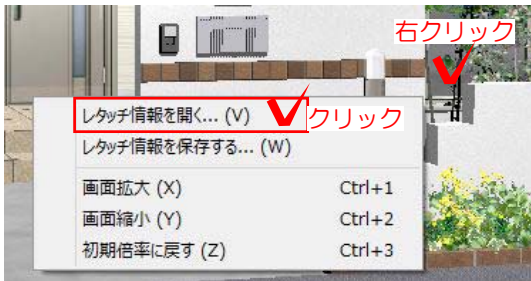
別ファイルに保存：パソコンのデスクトップなど指定した場所に保存することができます。



## 2 レタッチ情報を開く

保存したレタッチ情報は、修正後などに利用できます。再度、同じレタッチをする必要がなくなります。

2-1 eE-Painterのレタッチ画面を開きます。

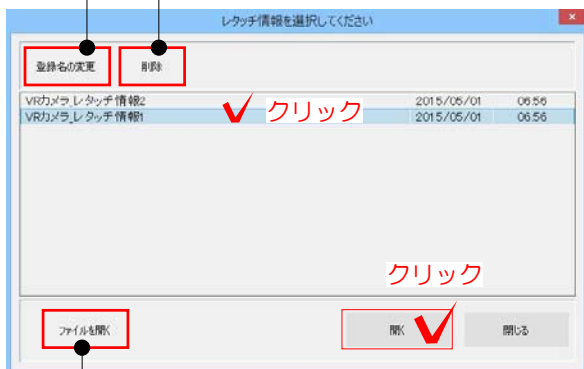


2-2 パース画面を右クリックし「レタッチ情報を開く」をクリックします。

登録名の変更：保存したレタッチ情報の名前を変更することが出来ます。

削除：保存したレタッチ情報を削除することが出来ます。

レタッチ情報選択の画面が表示されます。



2-3 保存したレタッチ情報を選択して「開く」をクリックします。

保存したレタッチが画面上に入ります。

カメラの角度が変わった場合はレタッチがずれてしまいますので、再度レタッチをしましょう。

ファイルを開く：パソコンのデスクトップなど指定した場所に保存したレタッチ情報を開くことができます。